

経営比較分析表（令和5年度決算）

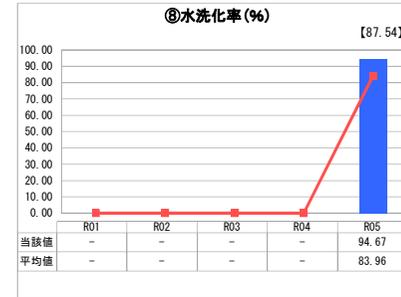
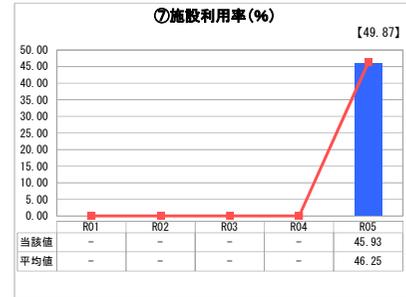
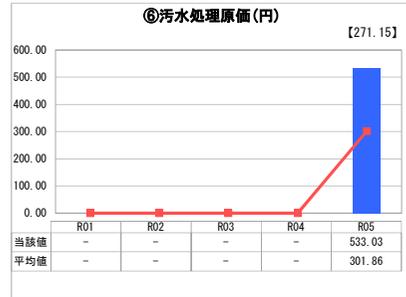
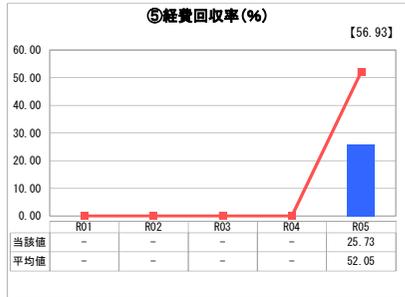
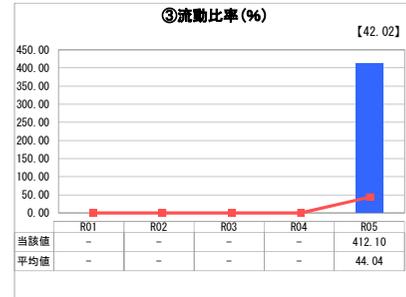
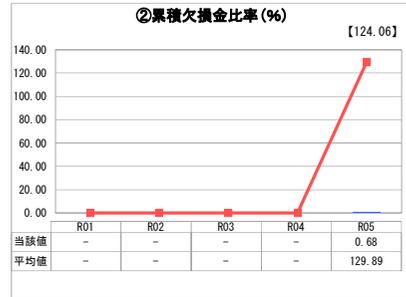
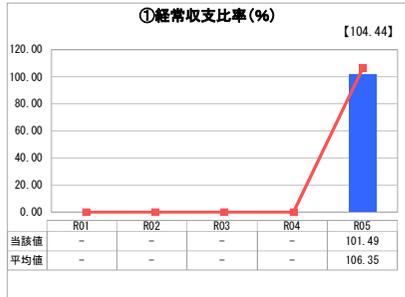
千葉県 芝山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	99.26	13.46	100.00	3,850

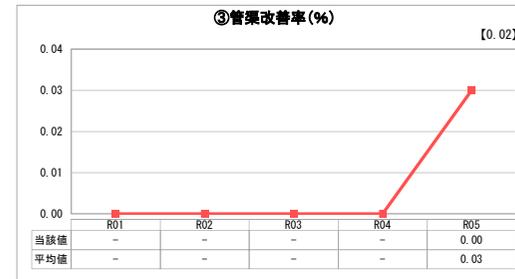
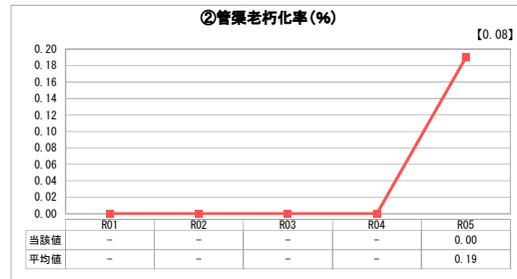
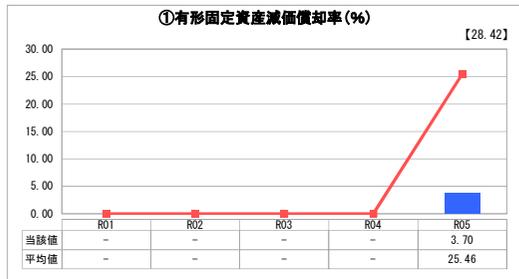
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,776	24.44	277.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
901	0.62	1,453.23

分析標
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析標

1. 経営の健全性・効率性について

芝山町では、令和5年度から地方公営企業法の財務規定を適用している。

① 経常収支比率は100%を超えている状態であるが、一般会計繰入金に依存している状況である。

② 僅かではあるが、欠損金が発生している状況にある。経営健全化に取り組み、その解消を図る必要がある。

③ 類似団体と比較すると高い水準にあるが、今後の施設更新に充てるため現預金を蓄えておく必要がある。

④ 企業債残高対事業規模比率は、新たな管路整備事業等が無く借入を行っていないため、類似団体と比較すると低い水準となり、年々減少している。

⑤ 経費回収率は、類似団体より低い水準であり、適正な使用料の確保及び汚水処理費の削減を図る必要がある。

⑥ 汚水処理原価は、類似団体に比較して高いため、汚水処理コストの削減努力は続けなければならないが、その大半を減価償却費が占めることから、大幅な削減は困難である。

⑦ 施設利用率は、45.93%となっており余裕がある状況である。今後の人口減少を見据え、施設の統合等、最適化を検討していく。

⑧ 水洗化率は、類似団体と比較して高い水準にあり、100%に近いものの処理区域内の未接続者に水洗化を促す。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率については、令和5年度から公営企業会計に移行したことに伴い、過去の減価償却費が反映されない計上方法となっていることから、数値が低い状況となっている。

② 管渠老朽化率、③ 管渠改善率については、法定耐用年数を経過している管渠はなく、老朽化の進んだ管渠が少ないため0%となっているが、適切に点検・管理を行い、必要に応じ更新・長寿命化を実施していく。

全体総括

当町の農業集落排水事業は、管渠整備工事が終了し、維持管理主体の経営を行っている。

今後、大幅な接続人口の増加を見込むことが困難な中、処理施設等の更新が課題となっている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。